

2017年12月期第3四半期

(2017年1月1日～2017年9月30日)

決算補足資料

2017年10月31日
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU LTD.

(1) 2017年12月期 第3四半期連結業績

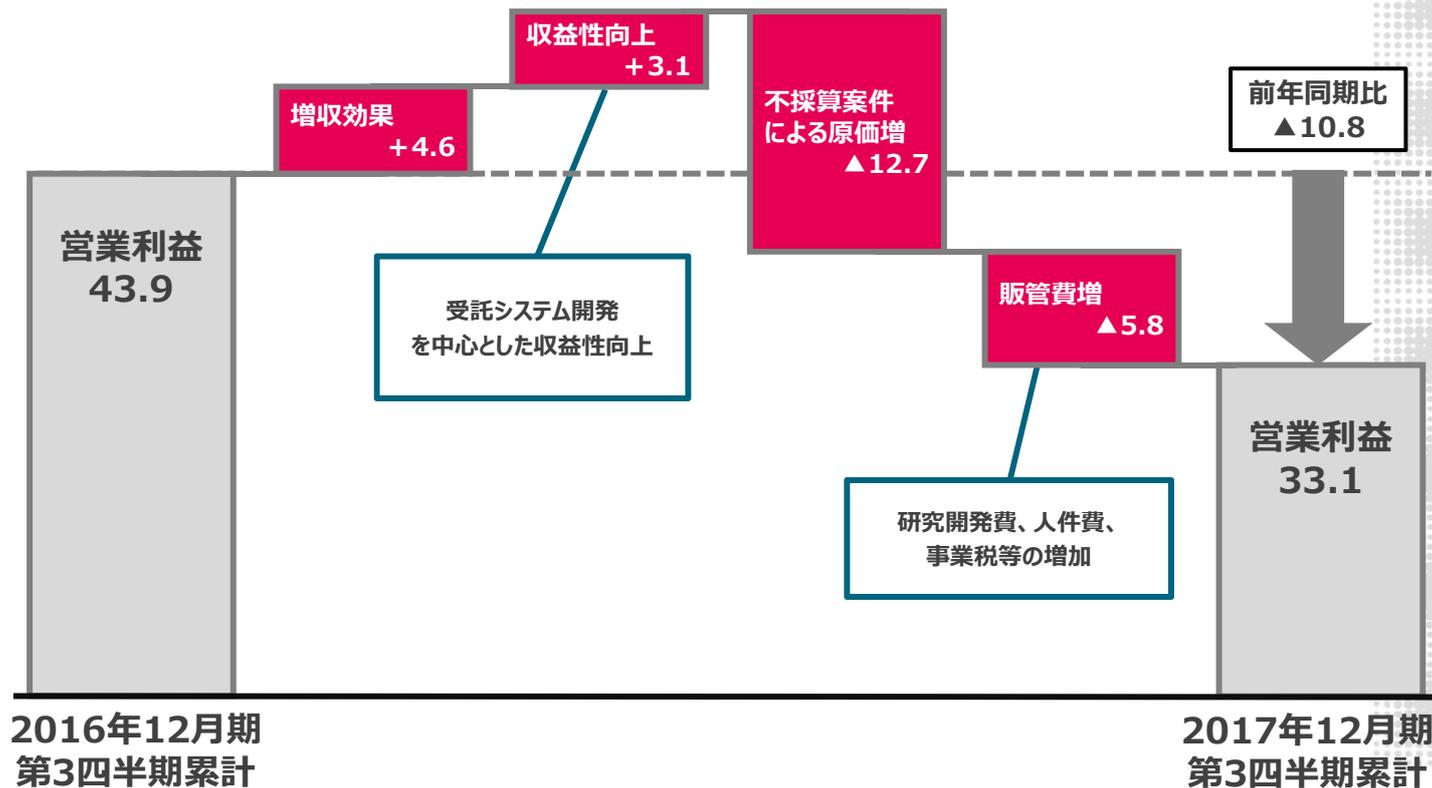
- 【売上高】 ビジネスソリューション、エンジニアリングソリューション、コミュニケーションITセグメントが好調に推移したことにより増収
- 【営業利益】 不採算案件の発生により売上総利益率が低下したことに加え、研究開発費ならびに人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加により減益

(単位：百万円)

	2017年12月期 第3四半期累計	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
売上高	59,225	57,797	+1,428	+2.5
売上総利益	18,333	18,828	▲495	▲2.6
売上総利益率	31.0%	32.6%	▲1.6p	-
販売費及び一般管理費	15,016	14,434	+582	+4.0
営業利益	3,316	4,394	▲1,078	▲24.5
営業利益率	5.6%	7.6%	▲2.0p	-
経常利益	3,428	4,608	▲1,180	▲25.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,759	3,208	▲449	▲14.0

(2) 営業利益の増減要因

(単位：億円)



(3) 事業セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

事業セグメント	2017年12月期 第3四半期累計	前年同期との比較		概況	
		増減額	増減率(%)		
金融ソリューション	売上高	15,165	▲970	▲6.0	BANK・Rの反動減、およびメガバンク向け受託システム開発の減少により減収。加えて不採算案件発生の影響があり減益。
	営業利益	996	▲458	▲31.5	
	%	6.6%	▲2.4p	-	
ビジネスソリューション	売上高	12,810	+541	+4.4	受託システム開発およびソフトウェア製/商品の拡大により増収。一方、不採算案件発生による原価増に加え、研究開発の強化や人員増に伴う費用増があり減益。
	営業利益	115	▲1,111	▲90.6	
	%	0.9%	▲9.1p	-	
エンジニアリングソリューション	売上高	18,650	+1,044	+5.9	NX等、設計開発領域のソフトウェア商品の拡大を中心に増収。ソフトウェア商品の収益性改善に加え、経費抑制により増益。
	営業利益	799	+304	+61.4	
	%	4.3%	+1.5p	-	
コミュニケーションIT	売上高	12,598	+812	+6.9	電通との協業ビジネスは大型案件のピークアウトを主因に減少したものの、電通グループ向けシステム構築案件の拡大により増収増益。
	営業利益	1,405	+187	+15.4	
	%	11.2%	+0.9p	-	

(4) サービス品目別 連結売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2017年12月期 第3四半期累計	前年同期との比較		概況
		増減額	増減率(%)	
コンサルティングサービス	3,858	+50	+1.3	デジタルマーケティング領域が自動車業界ならびに電通グループ向けを中心に拡大
受託システム開発	16,008	+463	+3.0	電通グループならびに運輸業向けを中心に拡大
ソフトウェア製品	10,370	▲497	▲4.6	STRAVIS、POSITIVE、iQUAVISは堅調に推移したものの、BANK・Rの反動減等により減少
ソフトウェア商品	18,634	+786	+4.4	電機・精密業向けにNX等の設計開発分野、サービス業向けにSAP等の基幹業務分野が拡大
アウトソーシング・運用保守サービス	5,799	+208	+3.7	電通グループ向けが拡大
情報機器販売・その他	4,553	+417	+10.1	電通グループ向けが拡大

[STRAVIS] ……連結会計ソリューション

[POSITIVE] ……人事管理ソリューション

[iQUAVIS] ……構想設計ソリューション

(5) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2017年 9月30日	2016年 12月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	57,061	55,046	+2,015	前渡金の増加(+2,044)、仕掛品の増加(+1,397)、繰延税金資産の増加(+653)、売上債権の減少(▲1,331)、預け金の減少(▲574)
固定資産	12,020	11,244	+776	投資有価証券の増加(+1,643)、有形固定資産の減少(▲721)
資産合計	69,082	66,291	+2,791	
流動負債	21,096	19,573	+1,523	前受金の増加(+658)、受注損失引当金の増加(+565)
固定負債	1,909	1,690	+219	リース債務の増加(+154)
負債合計	23,005	21,263	+1,742	
純資産合計	46,076	45,027	+1,048	利益剰余金の増加(+999)
負債純資産合計	69,082	66,291	+2,791	

(6) 受注高・受注残高

(単位：百万円)

		受注高		受注残高	
		2017年12月期 第3四半期累計	前年同期比 増減率(%)	2017年12月期 第3四半期累計	前年同期比 増減率(%)
事業セグメント別 内訳	金融ソリューション	12,327	▲8.1	4,090	+10.8
	ビジネスソリューション	6,472	▲30.1	2,577	▲38.2
	エンジニアリングソリューション	4,250	+31.3	1,212	+72.6
	コミュニケーションIT	5,811	+0.9	1,672	+0.7
サービス品目別 内訳	受託システム開発	16,397	▲8.9	4,964	▲12.2
	ソフトウェア製品アパウチ開発	5,713	▲16.5	2,491	▲5.4
	ソフトウェア商品アパウチ開発	6,749	▲1.2	2,097	+8.5
合計※		28,861	▲8.9	9,553	▲6.5
【参考】全サービス品目の合計値		64,017	▲1.0	26,334	+4.4

※ 当社グループが決算短信・有価証券報告書等にて開示している受注高・受注残高は、全6つのサービス品目のうち、受託システム開発と、ソフトウェア製品およびソフトウェア商品の一部(アパウチ開発およびアパウチ開発保守)を対象としています。エンジニアリングサービス、ソフトウェア製品・商品の一部(ラベリング/販売/保守)、アパウチ運用保守サービス、情報機器販売・その他は含んでおりません。

業績予想

注) この資料に記載しております業績の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、予想に内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の業績は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。

2017年12月期 業績予想

- ・ 当第3四半期連結累計期間は、売上高/利益ともに計画を下回って推移
- ・ 厳しい状況ではあるものの、現時点では予想を据え置く

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する第3四半期累計進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
売上高	84,000	79,783	+4,217	+5.3	70.5%
営業利益	6,700	6,488	+212	+3.3	49.5%
営業利益率	8.0%	8.1%	▲0.1p	-	-
経常利益	6,737	6,704	+33	+0.5	50.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,549	4,580	▲31	▲0.7	60.7%

2017年12月期 業績予想 (事業セグメント別)

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する第3四半期累計進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
金融ソリューション	23,366	22,037	+1,329	+6.0	64.9%
ビジネスソリューション	16,794	16,965	▲171	▲1.0	76.3%
エンジニアリングソリューション	25,899	23,872	+2,027	+8.5	72.0%
コミュニケーションIT	17,938	16,908	+1,030	+6.1	70.2%
合計	84,000	79,783	+4,217	+5.3	70.5%

2017年12月期 業績予想（サービス品目別）

（単位：百万円）

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する第3四半期累計進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
コンサルティングサービス	5,467	5,426	+41	+0.8	70.6%
受託システム開発	24,118	21,622	+2,496	+11.5	66.4%
ソフトウェア製品	15,619	14,796	+823	+5.6	66.4%
ソフトウェア商品	24,896	23,850	+1,046	+4.4	74.8%
アウトソーシング・運用保守サービス	8,097	8,015	+82	+1.0	71.6%
情報機器販売・その他	5,802	6,071	▲269	▲4.4	78.5%
合計	84,000	79,783	+4,217	+5.3	70.5%

主要プレスリリース <2017年7月～2017年10月>

金融ソリューションセグメント

- 8/31 ISIDとFRONTEO、人工知能を活用し、北陸銀行の文書データを分析する実証実験を開始
- 9/8 ISID、Studio Ousia、農林中央金庫が人工知能による社内問い合わせ対応の実証実験を開始
- 9/11 セブン銀行の新サービス“スマホアプリによる海外送金”や“リアルタイム振込機能”の基盤を構築

ビジネスソリューションセグメント

- 8/9 肥後銀行の統合人事システムを「POSITIVE」で刷新

オープンイノベーションラボ・他

- 7/27 中外製薬に治験関連文書管理サービス「Wingspan eTMF」を提供
- 8/8 双日グループとスマート漁業の共同実証実験を開始
- 9/8 農業IoT事業のベジタリアアに出資